

午後のティーサロン

後援：調布エフエム放送

～音楽&映画への語らい～

(第30回)



ルノワール／二人の巨匠 ～父の絵画と息子の映画～

印象派絵画の巨匠オーギュスト・ルノワールとその次男で映画史に名を残す映画監督ジャン・ルノワール。父ルノワールはクロード・モネと並ぶ印象派を代表する画家として美術史に名を残すと共に、身近な人物や裸婦を暖色で描いたその作品は多くの人に愛され、世界各地の美術館で所蔵されています。

幼い頃から父のためにモデルを務めた息子ジャンは、第一次世界大戦での戦傷の療養中にチャプリン等の影響を受け、映画製作の道に進みます。「大いなる幻影」や「ゲームの規則」、「フレンチ・カンカン」など、人間の持つ多様性への深い眼差しに支えられたその作品は高い評価を獲得し、ヌーヴェル・ヴァーグの旗手フランソワ・トリュフォーやジャン＝リュック・ゴダールなど後世の映画監督たちに多大な影響を与えました。

巨匠と呼ばれる父と子の絵画と映画をお届けします。
二人の表現者の根底に流れるものは・・・。



【お茶・資料代として300円お願いします】

日時：平成20年8月10日(日)

午後1時30分～4時

会場：たづくり10階 1002学習室

問い合わせ先：谷 080-1038-2050

主催：NPO法人 調布まちづくりの会



～音楽と映画への語らい～のお誘い

過ぎし日々、忘れてしまった時をもう一度再現してくれるものに映画や音楽があります。楽しかったこと、辛かったことなど、人それぞれにいろいろな思い出があると思います。あの時代にはやったメロディーの数々、あの映画のあのシーンなどなど、このおしゃべりサロンは、ビデオによる映画を観ながら、また音楽を聴きながら、午後のひとときを楽しい語らいの場にしたいと思います。興味のある方は、是非、お立ち寄りください。

☆ジャン・ルノワールの作品

・「黄金の馬車」1952年 仏・伊 出演：アンナ・マニャーニ／ダンカン・ラモント

18世紀初頭、南米のスペイン植民地。イタリアからやって来た劇団の花形女優(A・マニャーニ)はみるみるうちに現地の男たちを虜にし、一座は脚光を浴びるが……
フランソワ・トリュフォーは本作こそルノワールの最高傑作だと絶賛した。

・「ピクニック」1938年 仏

原作：モーパッサン 出演：シルヴィア・バタイユ

ある夏の日、パリ郊外へピクニックに出かけた一家。娘が美しい自然の中で出会った青年との儂い恋……。まるで絵画のような情景が、父ルノワールが描く印象派の世界と重なる。

☆「午後のティーサロン」・今後の予定と今までの内容

第31回：10月12日：「映画の中で奏でられる世界の民謡」

今までは、

第21回：2月25日：映画の中のクラシック音楽

第22回：4月29日：フランス映画、女優たちの競演

第23回：6月30日：フランス映画の貴公子、ジェラルド・フィリップ

第24回：8月26日：懐かしのミュージカル映画 Part 2

第25回：10月21日：イタリア・映画の旅

第26回：12月9日：プレスリー万歳！

第27回：2月10日：銀幕の恋人たち

第28回：4月13日：映画でクラシック～ピアノの詩人ショパン

第29回：6月8日：三人の尼僧の物語

☆おしゃべりサロン「相互塾」～老いも若きも大歓迎！Face to face を大切に～寺子屋風井戸端会議

「相互塾」は今年の5月で100回目を迎えました。6月の101回目からは装いも新たに、原則として毎月最終土曜日の午後1時から開催します。場所は総合福祉センター2階202会議室です。今後の予定は

第103回 8月9日「中国帰国者のまだ終わらない戦後」語り手：長野浩久さん

(8月は「平和の礎展 2008 関連事業」として調布市と共催で行いますので、会場：たづくり12階大会議室)

第104回 9月27日(土)「伊賀隠密の領地・佐須のルーツ考」語り手：高本政俊さん

「午後のティーサロン」、おしゃべりサロン「相互塾」などの開催案内チラシは、

各図書館(分館を含む)、3公民館、総合福祉センター、社会福祉協議会、各地域福祉センター、各児童館・学童クラブ、武者小路実篤記念館、郷土博物館、生涯学習情報コーナー、市民センター、YWCA国領センター、総合体育館、市民活動支援センター、ちょうふだぞう、子ども家庭支援センターすこやか、クッキングハウスなどに置かせていただいています。



主催：特定非営利活動法人 調布まちづくりの会

〒182-0023 調布市染地3-1-19 ハ-3-510 TEL&FAX:0424-88-4022

E-mail: mail@machikai.org ホームページ: <http://www.machikai.org/>